

# 〈理大天文研OB有志とその友達〉隊 メキシコ遠征報告

有志隊代表 中島真一

- 目的：(1) 晴天率の高いメキシコ サン・ホセ・デル・カボでの皆既日食観測。(2) メキシコ古代遺跡、庶民文化についての知見拡大。(3) メキシコ沿岸に生息する海洋生物の調査。
- 参加人数： 13名 (M9、F4)
- 日程、移動スケジュール： 1991年7月6日(土)～7月21日(日)
  - 7月6日 日本(大韓航空),ドイツ(ハッナム),カリフォルニア(車)より、ロサンゼルスに集合。
  - 7日 ロサンゼルスより、アロカリフォルニア航空でロス・カボスへ。空港からサン・ホセ・デル・カボのホテルまではタクシーで約20分。
  - 10日 リハーサル。
  - 11日 日食当日。
  - 12日 6名、アロカリフォルニア航空で帰路につく。ロサンゼルス1泊後、日本へ帰国。7名、メキシコ航空で、メキシコ本土メキシコ・シティへ。
  - 15日 メキシコ航空で、カリブ海ビーチサイドのリゾート地、カンクンへ。
  - 18日 メキシコ航空で一路、ロサンゼルスへ。メキシコに Adios!
  - 19日 ロサンゼルスより、ハッナムで2名ドイツへ帰国。
  - 20日 ロサンゼルスより、大韓航空で4名日本へ帰国。21日、成田空港にて最終解散。
- 宿泊地： "Melia Cabo Real", Carretera Cabo San Lucas, San Jose del Cabo.
- 観測地： サン・ホセ・デル・カボ 北緯23°04'、東経109°41'.0。海を見おろせる丘の中腹。
- 日食当日の天候： 快晴
- 観測方法： 大きく、写真撮影、ビデオ撮影、眼視に分けて観測を行った。
  - (1) フローライト屈折赤道儀(タカハシ65[mm],ビクセン80[mm])によるダイヤモンドリングおよびコロナの撮影(コロナについては、画像処理を行う)。
  - (2) 広角レンズ(28[mm])を使った日食過程の多重露光(39回)撮影。
  - (3) 望遠レンズ(210[mm]+2倍リアコンバータ)を使った第2,第3接触と食最大の太陽の多重露光撮影。
  - (4) 対角魚眼レンズ(17[mm])を使った、皆既中の太陽と風景の撮影。
  - (5) 全天魚眼レンズによる全天撮影。
  - (6) 皆既中の太陽、観測風景およびシャドウバンドのビデオ撮影。SONY TR-55を2台使用。

(7) 肉眼によるシャドウバンドの観測。

● 成果（目的(1),(2),(3)それぞれに対して）：

(1) 皆既日食観測経験者は13人中1人という素人集団であったが総力を結集し、また好天にも恵まれ、各観測対象別に納得のいくアウトプットを得ることができた。

(2) テキーラの飲み方には数種類あることが確認された。

(3) 透明度最良。海洋生物の宝庫であることを4ダイブで実感。ただし激しい潮流に要注意。

● 今後の課題： 皆既日食はダイヤモンドリング、シャドウバンド等、動的な現象であるので、ビデオ機材による撮影技術・手法を習得し、ダイナミックな時間的変貌を捕らえること。//